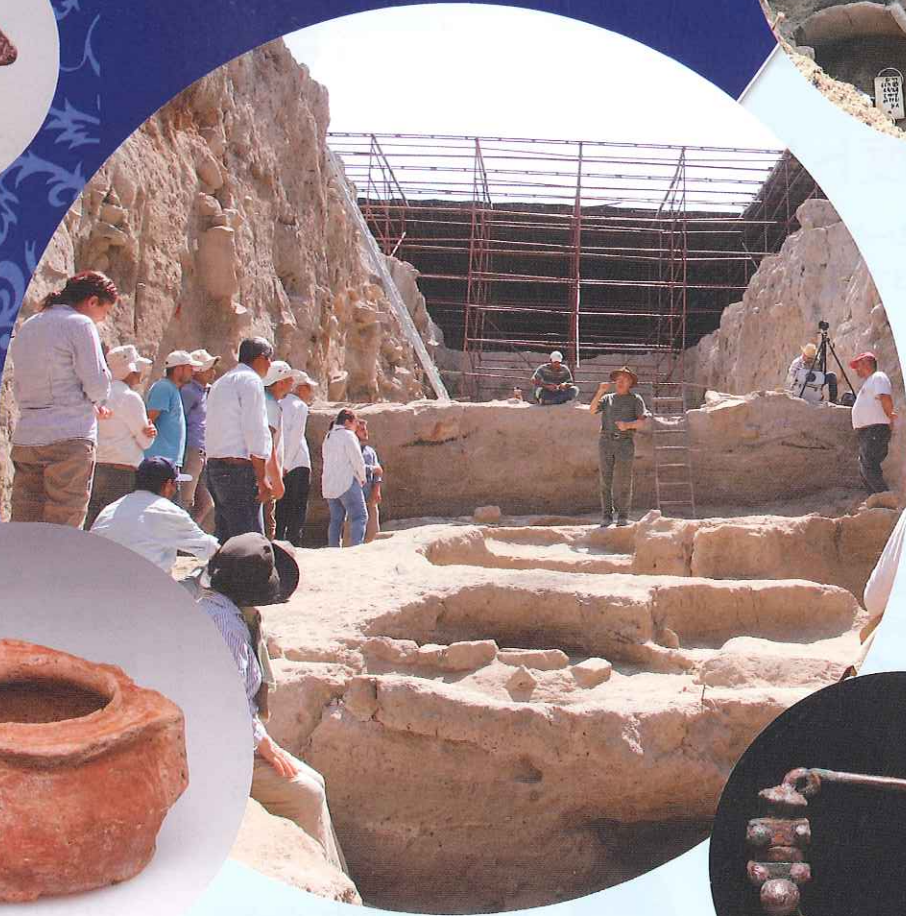


アナトリア考古学研究所 発掘調査  
カマン・カレホユック遺跡  
ヤッサホユック遺跡  
ビュクリュカレ遺跡



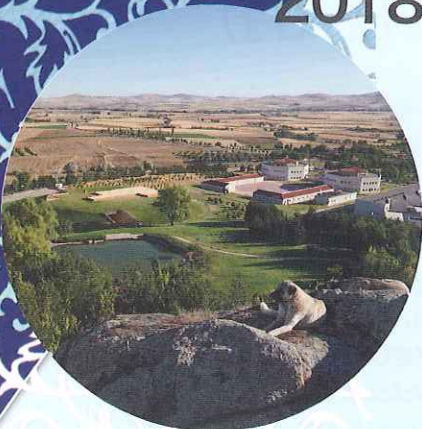
2018年3月25日(日) 2017年トルコ調査報告会  
3月26日(月) 第28回トルコ調査研究会

会場 学習院創立百周年記念会館講堂 (3階)

申込 2018年1月末より、当研究所ホームページにて  
申込み開始予定

※参加費 (資料代)、プログラム等詳細は、後日、  
当研究所ホームページにてお知らせいたします。

主催 : (公財) 中近東文化センター附属  
アナトリア考古学研究所  
Email : [tokyo@jiaa-kaman.org](mailto:tokyo@jiaa-kaman.org)





ビュクリュカレ遺跡と出土遺物(2017)

カマン・カレホユック遺跡 発掘現場(2017)

ヤッスホユック遺跡と出土遺物(2017)

## 2017年度トルコ調査報告会 2018年3月25日(日)

報告会では、今シーズン、アナトリア考古学研究所の行なった様々な活動(考古学フィールドコース、博物館での教育活動など)、3つの遺跡(カマン・カレホユック、ヤッスホユック、ビュクリュカレ)の発掘調査についてご報告します。

### ビュクリュカレ発掘調査 Büklükale

ビュクリュカレ遺跡は、トルコ最長の川クズルウルマック(赤い河)の西岸に位置する一辺約600mの規模をもつ前2千年紀の都市遺跡で、2009年から発掘調査を開始しています。今シーズンは、磁気探査により、後期鉄器時代の城壁が確認され、山頂部の地中にはオスマントルコ時代の建築遺構が眠っていることがわかりました。

隊長 松村 公仁  
アナトリア考古学研究所



### カマン・カレホユック発掘調査 Kaman-Kalehöyük

カマン・カレホユック遺跡は、トルコ共和国首都アンカラの南東100kmに位置し、1985年に予備調査、1986年に本格的な発掘調査を開始、現在に至っています。今シーズンは、北区の中期鉄器時代の調査で様式化された鹿文様の土器片が出土、南区の後期青銅器時代の調査では、ピットから青銅製の剣、印章、封泥が出土しています。

隊長 大村 幸弘  
(公財)中近東文化センター附属  
アナトリア考古学研究所



### ヤッスホユック発掘調査 Yassihöyük

ヤッスホユック遺跡はカマン・カレホユック遺跡から約25km東に位置し、南北500m、東西625m、高さ13mの大きな遺丘です。2009年以来行なっている発掘調査で、遺丘中央部で第III層前期青銅器時代末の王宮址の中央プランが明らかにされています。今シーズンは、保存状態も装飾もみごとなフィブラや彩文土器片が出土しました。

隊長 大村 正子  
アナトリア考古学研究所



## 第28回トルコ調査研究会 3月26日(月)

研究会では、これまでの発掘調査、遺跡踏査で出土、採集した資料をもとに進められている研究の成果を発表します。特に、近年カマン・カレホユック遺跡から出土している鉄関連資料の分析については、研究会での成果の発表が期待されます。

発表予定者: 松井孝典(千葉工業大学惑星探査研究センター 所長), 中村栄三(岡山大学惑星物質研究所 所長) ほか

(公財)中近東文化センター附属  
アナトリア考古学研究所  
〒181-0015  
東京都三鷹市大沢3-10-31  
TEL: 0422-32-7111 (代表)  
0422-32-7665 (直通)  
Email: tokyo@jaa-kaman.org



- ※ 会場は両日とも、学習院大学創立百周年記念会館(3階)講堂(東京都豊島区目白1-5-1)となります。
- ※ 報告会・研究会の両日通して参加費(資料代として¥1000の予定)をいただいております。なお、報告会(3/25)終了後、懇親会(会費制)を予定しております。
- ※ 報告会、研究会、懇親会ともに、どなたでもご参加いただけます。
- ※ 詳細は、2018年、当研究所ホームページ<http://www.jaa-kaman.org>にてお知らせいたします。
- ※ 開催日時等は変更になる場合がございます。必ず最新情報をホームページ等でご確認ください。